

ことわざや慣用句について理解するといと

名前

学習日

ポイント

- ことわざについて学習しましょう。
- 慣用句について学習しましょう。

きほん問題

1

次の(1)・(2)のことわざの意味として最もふさわしいものを、あとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 急がば回れ

(2) 仏ほとけの顔も三度

ア 身近なことの方が、わからないことがあるということ。

イ あぶない近道より、遠回りでも安全な道を行く方がよいということ。

ウ 何度もひどいことをされれば、おとなしい人でもおこるということ。

エ よいことばかりが続くものではなく、苦勞することもあるということ。

2

次の(1)・(2)の慣用句の意味として最もふさわしいものを、あとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 気が置けない

(2) たかをくくる

ア うちとけて接せつすることができること。

イ しせいを正して、気をひきしめること。

ウ 合わないので、いやだと思うこと。

エ たいしたことはないと軽く見ること。

ことわざや慣用語について理解すること

名前

学習日

チャレンジ問題

1 次の(1)～(3)のことわざとにた意味のことわざを、あとから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 月とすっぱん

(2) 弱り目にたたり目

(3) さるも木から落ちる

ア 泣き面にはち

イ 弘法にも筆のあやまり

ウ 花よりだんご

エ 石橋をたたいてわたる

オ へたの横好き

カ ちようちゃんにつりがね

2

次の(1)～(5)の慣用語の□にあてはまる、体の一部の名前を表すことばを、それぞれ漢字一字で書いて答えなさい。

(1) □を長くする(心待ちにしている様子。)

(2) 開いた□がふさがらない(おどろきあきれる様子。)

(3) □がいたい(自分の欠点を言われてつらいこと。)

(4) 木で□をくくる(冷たい態度をとること。)

(5) □をひっぱる(人のじゃまをすること。)

ことわざや慣用語について理解する

きほん問題

かい答		アドバイス	
(2) (1)	2	(2) (1)	1
エ ア		ウ イ	
		1	2
		アは、「灯台下暗し」ということわざの意味です。エは、「楽あれば苦あり」ということわざの意味です。	
		2	
		イは、「えりを正す」という慣用語の意味です。ウは、「氣にくわない」という慣用語の意味です。(1)「氣が置けない」とまちがえないようにしましょう。	

ことわざや慣用語について理解すること

チャレンジ問題

かい答		アドバイス	
(5) (4) (3) (2) (1)	2	(3) (2) (1)	1
足 鼻 耳 口 首		イ ア カ	
2		(3) (2) (1)	1
2		(3) (2) (1)	1

- (1) どちらも、「くらべものにならないほど、ちがいが大きい」という意味です。
- (2) どちらも、「よくないことが重なること」という意味です。
- (3) どちらも、「上手な人でも失敗することがあること」という意味です。

2  
体の一部の名前を用いた慣用語は多いので、整理して覚えるとよいでしょう。